

「アイスプラネット」 椎名誠 〈登場人物の言動に着目して物語を読もう〉

◎この物語を通して学んでほしいこと

- ☞ 登場人物の行動やセリフから、心情変化を読み取ることができる。
- ☞ 登場人物の生き方を通して、自分の生き方を見つめ直すことができる。

☆長くなるが、読んでほしい。

へどんな物語にも通じる、物語の読み方へ

物語とは、「登場人物が、ある出来事をおして、成長する話」のことだ。だから、どんな登場人物が、どんな状況で、どんな事件があつて、どう変化したのかを意識しながら読んでほしい。では、具体的に何に着目したらよいのだろうか。

人間は、いろんなところから感情が分かる。言葉はもちろん、表情、さりげない仕草……。言葉だって、言っていることと考えていることが逆なんじゃないからあるし、選ぶ言葉で微妙な心の有り様を表そうとする。それは、物語の世界も一緒。登場人物たちの言葉から、行動から、その繊細な心を捉えてほしい。

加えて、物語には「情景描写」というものがある。晴れは喜びを、虹は希望を、雨は悲しみを、暗雲は不安を……。天気だけではない。「かつて賑わっていた商店街は、今はそこかしこでシャッターが降りている」「寂しみのように、もの様子も含まれているから、注目してほしい。

さらに、「象徴」だ。「ハトは平和の象徴」のように、目に見えない何かを、形あるもので表している。物語で繰り返し出てくるものは、象徴の可能性が高い。今回で言えば、題名にもなっている「アイスプラネット」。登場人物が、そして筆者が、このアイスプラネットに何を託そうとしたのか、ぜひ考えてほしい。

これらは、物語を読みとるポイントだ。しかし、それだけではない。より深く読め

るというひとは、より深く考えられるというひとだ。たまざまな表現をとおして、主人公たちの生き様に触れ、自分という存在を見つめてみてほしい。テストの点数がとれるだけではない、**豊かで、色鮮やかな世界と出会えるはずだ。** 川上 より

☆では、物語を読みとっていいこう。

〈登場人物を確認する〉

☆ほとんどが冒頭で読み取れる内容。つまり、**物語の冒頭は「登場人物」の「状況」を捉えるために重要な情報が詰まっている。**さらっといきがちだが、**変化の前後を捉えるためには大切だ。**

- ・僕（悠太）・・・成長を上げる主人公で語り手。中学生⇨思春期。「へいちゃん」の話が大好き。
- ・へいちゃん・・・津田 由起夫（僕を成長させてくれるキーマン。僕の家で居候。
- ・母・・・へいちゃんのお姉。へいたのへいひちゃんを、うしも叱っている。「へいひちゃん」。
- ・父・・・仙台に単身赴任して行って、週末帰ってくる。力仕事でへいちゃんを頼れるから、居候のへいちゃんを歓迎している。


〈フォーカスして読む〉

☆物語を読み取るとき、**視点を決めると見えてくるものがある。**「ういどは、**「へいちゃん」の話に対する、僕の見方の変化に着目して物語を読んでみよう。**

①ネゴロ (P19~22)

- ・「僕はへいちゃんの話が大好きだ。」
- ・「へいちゃんの話は文句ないとおもっているのだ。」
- ・「僕はへいちゃんのお部屋へへいひ話をきいていた。」

作り話を語るへいちゃんは面白くない！



- ・今日お話のノートがちょっと幼稚すぎる。
- ・うしも怒った。僕がおもっているがねへいちゃんはおもっているのだ。「おうえんね。」
- ・ういひかのへいひちゃんのお話の世界に取の込まれてくれている。

なんか幼稚いねへいちゃん！



- ・おねのしんのすけも扱った。おねが冒頭だった。
- ・僕を小学生へいひと勘違いしているんだ
- ・僕をからかって喜んでいる田代
- ・アイスプリンネットは、童話か何かの話？
- ・へいちゃんのお話、ういひの今までの中学生をなめてくるのだ


へいちゃんは僕をお子ちゃま扱いして、馬鹿にしてる(怒)



②話を聞いた翌日 (P22～23)


- ・アナロンダ、ナブスの話は面白かった
- ・氷の感傷もほろりだったらめむらだんないな
- ・しつ、話っていいわ。

きつと吉井や今村も
「べんちゃん」の話を
楽しんでいたんだもん



- ・「本邦での、証拠の写真を見せなよ。」と無愛想
- ・「写真を後引」なとっしおと遊ばせ。
- ・べんちゃんに僕の人生を全面的にからかわれた感じた。


今昔で楽しんでいたの
「、全部フィリッたって
のカーキめんど僕もべん
しおちゃんかー



③夏休み (P23～24)

- ・あまのべんちゃんを部屋に行かなった。
- ・父「日本の中じゃあは気分かならじやがらっほろ見える。羨まっ。」
- ・母「由起夫のせいで悠太に悪影響がしたな、べんちゃん。」
- ・僕のじやべんちゃんを責めらなれるのは少し嫌いながたぬ。
- ・電気の消えたべんちゃんを部屋が急に寂しい感じがした。

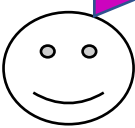
距離を置いてたけど、
やっぱり「べんちゃん」
のこと、好きなのかも
会いたいな……



④九月の新学期が始まった頃 (P24)


- ・久しぶりのべんちゃんを話の話を聞きたさ。
- ・からかわれてもさ。

きつと吉井や今村も
「べんちゃん」の話を
楽しんでいたんだもん



- ・「じゃああまのべんちゃん。」とほろんな意味があったのが。
- ・昔はじやべんちゃんをさ。
- ・久しぶりのべんちゃん「勝手に行けなっさっさなごか。」
- ・それ以来、二度と部屋に行かなかった。


せいか存在感のこがひ
思ったの「、なんだよー
自分勝手にすればだろ。
急なきぬ…悲しんか…



⑤十月初め (P25)

- ・なるといっしおのかわかならなご
- ・べんちゃんを話した。
- ・あの表情で笑った（二組の田をめぐっほろ見舞く
- ・「あんなに楽しかったっさなごか。」

△カシベヤ、さなのほ寂し
いっしおほこいなごけい…
外国に行くのは、ウンじゃなご
んだ。なんだよ、寂しんか…



⑥田舎のじやべんちゃん (P25～27)

- ・べんちゃんを話した女中なれっしお話した
- ・「氷の感傷」の感傷

今昔の話は、全部本当だったんだ！
おじいちゃん「べんちゃん」！



